

平成28年度 民間資金等活用事業調査費補助事業

国際会議場の整備に関する調査

(調査対象箇所：名古屋国際会議場)

【調査主体】名古屋市

調査対象事業の概要／施設の概要

| | | | |
|-----------------|---|---------|---------|
| 【開設経緯】平成2年4月 | 第1期整備竣工 | 平成6年10月 | 第2期整備竣工 |
| 【施設規模】敷地面積 | 98,168㎡ | 延べ面積 | 72,165㎡ |
| 【建設費】約392億円 | (第1期整備約200億円、第2期整備約192億円) | | |
| 【運営主体】26年度-29年度 | (株)コングレ・(財)名古屋観光コンベンションビューローコンソーシアム (指定管理、利用料金制) | | |
| 【主な施設】 | センチュリーホール 定員:3,012人 用途:コンサート、式典、講演会等 稼働率:87.1%(27年度) | | |
| | イベントホール 面積:1,920㎡ 用途:展示会、スポーツイベント等 稼働率:79.9%(27年度) | | |
| | 白鳥ホール 面積:1,250㎡ 用途:パーティー、講演会、商品展示等 稼働率:78.4%(27年度) | | |
| | レセプションホール 面積:670㎡ 用途:パーティー、会議等 稼働率:83.3%(27年度) | | |
| | 国際会議室 面積:500㎡ 用途:国際会議、式典等 稼働率:34.7%(27年度) | | |

検討経緯等

| | |
|------|-------------------------|
| 25年度 | PFI活用検討調査 |
| 27年度 | 機能強化に向けた整備方針調査、天井落下対策調査 |

事業化に向けて解決すべき課題及び検討すべき内容

【事業化に向けて解決すべき課題】

- ・コンセッションまたはPFI手法を導入した場合の効率的・効果的な事業執行効果の検証
- ・耐用年数を超過した基幹設備の更新や施設の老朽化対策、天井落下対策などの大規模改修の一体的な実施等に伴う財政負担の抑制と民間活力導入事業手法を活用した場合の民間事業者から見た事業開始、持続可能性の検証
- ・以上の事業を進めるための長期的スケジュールの検討

【検討すべき内容】

- ・前提条件の整理
- ・事業スキームの検討
- ・コンセッション事業・PFI事業導入可能性の検討
- ・事業化に向けた検討
- ・類似事例の調査
- ・民間事業者の意向把握
- ・実現可能性の評価
- ・敷地内の未利用地を活用した宿泊施設の立地可能性の検討

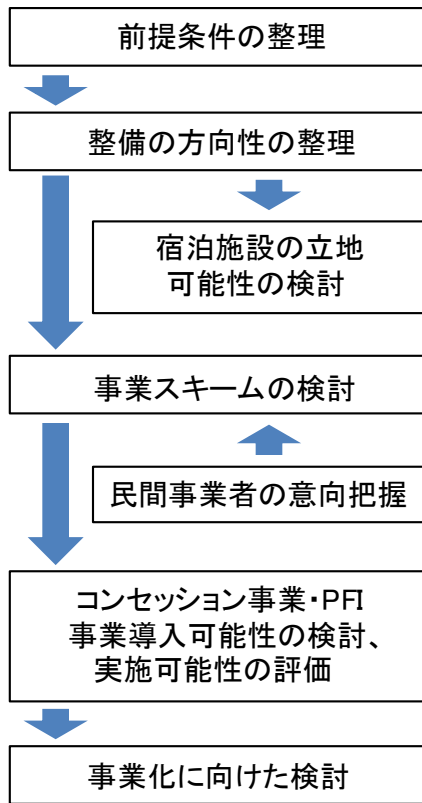
平成28年度 民間資金等活用事業調査費補助事業

国際会議場の整備に関する調査

(調査対象箇所：名古屋国際会議場)

【調査主体】名古屋市

調査の流れ／調査内容



事業化検討

【事業の概要】

| 対象施設 | 概要 | |
|------|-------|---|
| 既存施設 | 大規模改修 | 基幹設備の更新 老朽化対策 天井落下対策 ユニバーサルデザイン対応 |
| 新設施設 | 機能強化 | 展示施設の整備 (展示面積約6,000～8,000㎡) 利用者駐車場の増設 |

【検討結果(既存施設の大規模改修)】

| | 設計・工事 | 従来方式 | DB方式 | PFI(RO)方式 |
|------------------|-------|--------|--------------------|--------------------|
| 維持管理・運営 | | 指定管理制度 | 指定管理制度 or 運営権制度 | 指定管理制度 or 運営権制度 |
| 定量評価(VFM) | | — | ◎ | ◎ |
| 市負担の平準化 | | ○ | ○ | ◎ |
| 改修工事の発注手続きの容易性 | | △ | ○ | ○ |
| 工期短縮化 早期の供用開始 | | △ | ◎ | ○ |
| 総合評価 | | △ | ○ | ◎ |

【検討結果(既存施設の大規模改修+新設施設の整備)】

| 設計・工事 | 従来方式 (既設・新設) | DB方式 (既設・新設) | PFI(BTO)方式 (既設・新設) | 従来方式(既設) PFI(BTO)方式(新設) | DB方式(既設) PFI(BTO)方式(新設) | DB方式(既設) リース方式(新設) |
|------------------|-----------------|--------------------|-----------------------|----------------------------|----------------------------|-----------------------|
| 維持管理・運営 | 指定管理制度 | 指定管理制度 or 運営権制度 | 指定管理制度 or 運営権制度 | 指定管理制度 or 運営権制度 | 指定管理制度 or 運営権制度 | 指定管理制度 |
| 定量評価(VFM) | — | ◎ | ◎ | ○ | ◎ | × |
| 市負担の平準化 | ○ | ○ | ◎ | ○ | ○ | ○ |
| 改修工事の発注手続きの容易性 | △ | ○ | ○ | △ | ○ | ○ |
| 工期短縮化 早期の供用開始 | △ | ◎ | ○ | △ | △ | ◎ |
| 総合評価 | △ | ○ | ◎ | △ | △ | × |

今後の進め方

30年度 整備方針の検討
31年度～ 改修範囲検討
事業者選定手続き等

想定される課題

- ・大規模改修等の機能・性能等整備水準の詳細検討
- ・事業手法、運営形態等の決定
- ・附帯事業(レストラン事業やケータリング事業等)の機能確保